

2023年7月度のボーイスカウト福岡第14団の報告について

1 ビーバー隊

- 日時：7月2日（日） 子供山笠 櫛田神社～冷泉公園

4年ぶりに開催された「子供山笠教室」に参加しました。6月の天気とはうってかわっての蒸し暑い中での開催となりましたが、山笠教室～山舁き体験に参加した男子スカウト、山笠教室～沿道での応援に回った女子スカウトともに頑張っていました。この体験をとおして、日本有数の祭りである博多祇園山笠、また地域の文化、我が国の文化に興味を持ってもらいたいと願います。



- 日時：7月23日（日） 沢遊び 油山市民の森

油山市民の森で沢遊びをしました。「先日の豪雨で迷子になってしまった山の神様の子供たち」を探しながら水生生物の観察をしました。また、隊長からのミッションで、「海の神様の子供たち」の絵の描かれたストーン探しもしました。スカウト達には、沢の水生生物探しから森の水資源や生物多様性、果ては SDGs をとおして地球環境と人類の持続的発展についても考えることができるような人になってほしいと思います。



2 カブ隊

○ 日時：7月16日（日） 15時45分～21時20分 室見川周辺

内容：室見川で夜行性のテナガエビをとる

目的：体験を通して学ぶ。愛と感謝の心を育てる。

カブ隊では珍しく夕方からの活動です。7月の猛暑での活動は体力的に難しいのではないかと保護者からの意見により、今回初めて夕方に集合して夜行性の生物をとる内容となりました。

組集会ではうさぎスカウトは初めて手旗を使って、13原画の練習を行い、苦手を克服するためのロープワークも頑張りました。隊集会ではひらがなカードを使った言葉づくりや、手旗をつかった暗号解読ゲームなど楽しみました。カブ弁の夕食をたべ、いよいよ日没を待って室見川河川敷へ移動。

えびあみという特殊な網を使って、テナガエビとりにチャレンジしました。

真っ暗な川底に懐中電灯を当てて、赤く光るエビの目を見つけ上からそっと網をかぶせて取る方法です。1時間ねばりましたが、くまスカウトが1匹獲ったのみでした。

でもスカウトたちは真剣に取り組み、今後家族で近くの川に取りに行きたいと言って活動を終わりました。



テナガエビ GET!

3 ボーイ隊

○ 日時：7月16日（土）～17日（日） 脇山野営場 訓練キャンプ

8月の長期遠征キャンプに向けた訓練キャンプを実施しました。

開会后、テントの設営をそれぞれ分担して作業を進める。

立ちかまどで調理をし、みんなで食卓を囲む。訓練キャンプに参加してスカウトのスキルアップに繋がったのではないかと感じました





○ 7月30日(日) 隊集会 福岡27団スカウトハウス
長期遠征キャンプに携行する資材等の点検整備を行いました。

4 ベンチャー隊、ローバー隊

- ・ベンチャー隊

- 7月11日 隼章取得のための報告書作成会議

- ・ローバー隊は、ボーイ隊、カブ隊の隊集会奉仕

以上